

宮日と考える宮崎の今～宮崎公立大学時事問題講座

新聞の読み方

宮日と考える

# 宮崎の今

宮崎日日新聞が1日に扱う ニュースは、共同通信社が配信してくる世界や全国の記事が500本前後、自前の宮崎の記事が100本前後。私が部長を務める整理部は、その取捨選択や価値判断をし、見出しを付け、レイアウトする仕事。最初の読者であり、いかに読んでもらうかが工夫する料理人でもある。

黒木 裕司(くろき・ゆうじ) 整理部長。1992年入社。日向支局長。2012年から現職。宮崎市出身。47歳。



シャーナリストの池上彰さんは「新聞の醍醐味(だいご)は、見出しを見れば概要が分かる、記事の1段落目に内容が凝縮されているなど、新聞の特性によるところも大きい。そういう構成を知れば、効率的に読むことができる。今年の学力テストでは新聞を読む小中学生ほど正答率が

高い結果となった。実用的な日本語も身に付く。気になる記事を切り抜いてノートなどに張り、スクラップをつくるのもいい。インターネット上では、新聞社やテレビ局が発信する記事のほかに、取材をせずに引

意見を書いて異議は検討し、間違いは訂正する。米国では2009年だけで50紙が消滅した。プリンストン大の調査で、地方紙がなくなくなった地域は選挙の投票率や立候補者が減り、地方政治の硬直化が進んだという結果もある。本紙を含む地方紙は、権力を監視する「番犬」であり、

守り、普段見られない美術展を開き、広告で企業の活動を後押しするなど、さまざまな場面で役割がある。

## 新聞の読み方

# 世の中知る「ものさし」

【1年藤村未歩さん19】新聞を読むのは時間がかかり、難しいと思っていた。見出しに興味が出たものを詳しく読む方法は時間もかからず、実践したい。

【2年遠山大樹さん20】新聞は民主主義の要、いかに客観性を確保するかという点は今後も追究してほしい。

【3年海老原梨菜さん20】新聞を読む習慣がなく、インターネットのニュースや「まとめ記事」を読んで全てを知った気になっていた。中には根拠がない記事もあると知ったので、ちゃんと新聞でニュースを把握しようと思った。

(2日の講座から) 次回は10日付



宮日と考える

# 宮崎の今

公立大時事問題講座から

▷ 2 ◁

## 18歳選挙権

# 未来の在り方考えよう

選挙権年齢が「18歳以上」となった。しかし権利意識の高まりや運動により開かれた門ではない。投票に行こうと促すだけでは、参加しようとは思えないのではないか。

国は狙いを若者に伝え、意義を知ってもらうべきだと以前社説で書いた。すると、最近国が高校生対象に作った主権者教育の副教材に文言があっ

た。「皆さんは多様な情報に接し自分の考えを育んできた世代であり、少子高齢化の進む日本で未来の日本に生きていく世代であることから、現在や未来の在り方を決める政治に

関与してもらいたい」と。確かにその通りで、今議論されている社会保障、地方創生など各種政策は、若者がどういう環境で生きていくかというベースになっていく。つまり今、「未来」が形づく

られている。若者の意思は反映されるべきだ。現在を見てもブラックバイトや雇用の不安定化、貧困など若者を取り巻く厳しい現状がある。声を上げることが、解決への道筋をつくっていくかもしれない。そんな中、政治に対する若者の動きが活発化してきた。安保関連法への抗議行動だ。中心となったグループは「民主主義って何だ?」と問い続ける。反対が多いのに成立を目指す政権に、国民の声を聴いてと立ち上がった形だが、彼らは安保だけでなく若者が政治のさまざまな問題を思考し行動する大切さを説く。主権者の「仕事」は投票だ

ではない。国の研究会報告書にも「国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者」と書いてあった。県内を見渡すと、大学生団体が地域活性化や被災地支援などに汗を流している。主権者としての立派な行動だ。

青児の連載をしていた時、死産を経験した女性から「

ルが来た。悲しみのどん底にいた彼女は、同じ経験をした人が多いのを知って会をつくり、悲嘆に寄り添うグループケアが県内に広がるきっかけをつくった。人の強さを感じた取材だった。

社会に厳しい現実もあるのだと知ったならば、私たちにほそれを変えていくことができる。社会を知ることほ社会

### 講師の横顔



中川 美香 (なかがわ・みか) 論説委員。1993年入社。報道部、日南支社、文化部次長を経て現職。都城市出身。44歳。

【1年後藤大志さん(19)】選挙権年齢引き下げで社会を知ろうとする若者が増えると思う。自分の考えや意志を持つて人が多くなるといい。

【1年駒澤美奈さん(19)】「優しい」社会は本場に必要だ。若い世代の行動力を生かし、一人一人に寄り添い意見を尊重する社会を目指したい。

【2年内山友美さん(19)】若者の意見や新しい考えが日本のさまざまな問題を解決するかもしれない。未来を担う私たちが、政治に無関心のままではいけないと感じた。一人でも多くの人が幸せに暮らせる社会をつくりたい。

(9日)の講座から  
次回(17日)付  
宮日HPに動画



宮日と考える宮崎の今～宮崎公立大学時事問題講座  
格差

宮日と考える

# 宮崎の今

～公立大時事問題講座から

▷ 3 ◁

日本は物価が安くなるデフレレシオンが15年以上続いている。消費者としては良く感じるだろうが、商品価値が下がると、会社はもうからない。次第に給与といった経費を削減する。やがて家計は苦しくなり、消費が減退。そんな悪循環が続いているのだ。

この状況を解消しようと、始まったのがアベノミクス。

## 講師の横顔

杉尾 守(すぎお・まもる) 報道部長。



1989年入社。報道部、延岡支社長、経済部長などを経て現職。宮崎市出身。49歳。

# 格差

による燃料高騰や生活必需品の値上げといった「副作用」が地方を襲い、格差が広がった。

本県も例外ではない。宮崎の経済規模は全国のおよそ1%。基幹産業は農業で、企業の約9割が中小または零細。

地方が生き残るには、「想像力」「発想力」などを培うことが求められる。前例踏襲から脱却し、いかに満たされていないニーズを捉えた商品を生み出すことができるか。現在は作れば売れる時代では

# 経済政策地方に副作用

する金融緩和の公共工事を積極的に進め、国のお金を使って仕事を増やす財政出動のバブル崩壊後の不景気のしわ寄せがきている。

経済基盤は脆弱(せいじやくだ。本県のような地方に)だ。アベノミクスが失速しているとの声も聞かれる中、安倍首相は新たな三本の矢を打ち出したが、安全保障関連法案を成立させる際に揺らいだ支持率を回復するための手段にすぎず、具体性に欠ける。

戦略の三本の矢で、日本の経済を立て直すとしてきた。安倍晋三首相は都市部に広がる恩恵が、やがて地方に波及していく「トリクルダウン理論」を狙っていた。しかし、景気回復より先に、円安

景気回復の鍵は賃上げ。そのために何をすべきかこそ国が考えなければならぬことだ。

新たな考えが生まれるかもしれない。モノ、があふれる今だからこそ、そんな感覚に磨きをかけてほしい。

## 学生の感想

【1年菊地杏花さん(18)】いろいろなところで人が都市部に流れていくと聞く。さまざまな面で格差が拡大しているように感じる。

【2年榎本あかねさん(20)】努力で埋まらない格差は良くないが、努力で埋められる格差は、経済成長に役立つので悪いことばかりではない。

【4年野那覇麗奈さん(22)】地方には広い視野と多くの経験が必要。狭い枠を超えて積極的に挑戦し、攻めることが大切。そのための知識と経験、あらゆる視点にたつて物事を進める力が必須になる。(16日の講座から) 次回(24日付) ↓宮日HPに動画



宮日と考える

宮崎の今

公立大時事問題講座から

▷ 4 ◁

スポーツ

選手の活躍 感動を共有

スポーツの話題は世代を越え「共通言語」。身近な選手やチームであればなおさら盛り上がる。宮崎日日新聞のスポーツ面は、県内のスポーツを紙面にいっぱい登場させ、宮崎を盛り上げるのが仕事だ。新聞記事は「公平公正」が原則だが、スポーツ記事は宮崎の選手、チームを応援するという目的で「えこひいき」もある。小さな大会の記録を掲載したり、本県選手

速い。読者は新聞にドラマを求める。そこで記者は試合や大会だけでなく練習に通って選手本人や監督、両親、チームメイトからも話を聞き、選手が活躍したときの記事の材料を集めておく。本紙記者は

いけば宮崎の選手、チームの料を集めておく。本紙記者は

宮崎の選手に注目して記事を書くことを「えこひいき」と表現していたが、それだけ地域に密着しているのだと感じた。自分も小学生のときに記事が掲載され、今でも切り取って家に残してある。

の活躍を大きく扱ったりして県民と共に感動を共有する。スポーツはプロ野球、Jリーグ、五輪などトップアスリートだけのものではない。県内にも小学生から社会人まで多くの人がスポーツに親しみ、勝つことの喜びや達成感、悔しさに違いはない。結果を知るだけならテレビ、インターネットの方がはるかに

応援団だ。敗れた選手でも県民に大きな感動を与えるケースがある。今夏の高校野球県予選では「白球」というコーナーを設けて紹介してきた。

2026年、本県で2巡目の国体が開催されるのが事実上決まった。国体は日本でも一番大きなスポーツイベント。全国から選手、監督のほか、社会の中心世代。どうい

でいる。新たな施設整備には巨額の費用が必要となる。宮崎のように人口の少ない県は競技力向上も課題。優秀な社会人選手が地元に残り、競技に打ち込める環境も必要だ。

国体開催の影響はスポーツにとどまらず、県全体のさまざまな産業に関わる。学生

講師の横顔



侯野 秀幸(またの・ひでゆき) 運動部長。1991年入社。報道部次長、総務部次長などを経て現職。小林市出身。48歳。

2026年、本県で2巡目の国体が開催されるのが事実上決まった。国体は日本でも一番大きなスポーツイベント。全国から選手、監督のほか、社会の中心世代。どうい

でいる。新たな施設整備には巨額の費用が必要となる。宮崎のように人口の少ない県は競技力向上も課題。優秀な社会人選手が地元に残り、競技に打ち込める環境も必要だ。

国体開催の影響はスポーツにとどまらず、県全体のさまざまな産業に関わる。学生

国体で訪れた人が「宮崎にまた行きたい」と思えるような、独自の良さ、宮崎の温かさが伝わる取り組みが必要。

↓ 宮日HPに動画

学生の感想

【1年真鍋沙織さん(18)】

宮崎の選手に注目して記事を書くことを「えこひいき」と表現していたが、それだけ地域に密着しているのだと感じた。自分も小学生のときに記事が掲載され、今でも切り取って家に残してある。

【1年山本梨央さん(19)】

「白球」など熱い内容の記事に感情移入して、感動しながら読むことができた。

【2年岸本千明さん(20)】

国体で訪れた人が「宮崎にまた行きたい」と思えるような、独自の良さ、宮崎の温かさが伝わる取り組みが必要。

(23日の講座から)

次回(11月7日付)

↓ 宮日HPに動画

宮日と考える

# 宮崎の今

宮公立大時事問題講座から

▷ 5 ◁

近年、地方銀行(地銀)の業界再編の動きが活発になつてい

る。10月1日には隣県の肥後銀行(熊本県)と鹿児島銀行(鹿児島県)が経営統合した。なぜ、業界再編が進んでいるのか。

肥後銀、鹿児島銀とも有力な地銀であり、当面は統合しなくても安定的に経営を維持できる。今回の統合は、その先を見据えたものであり「人

## 講師の横顔

小川 祐司(おがわ・ゆうじ) 経済部長。1999年入社。報道部次長。都城支社長などを経て現職。宮崎市出身。47歳。



長、都城支社長などを経て現職。宮崎市出身。47歳。

## 地域金融

# 人口減対策へ地銀再編

「人口減少」への対応を最大の目的とする。銀行は基本的に、

場、パイが縮小するわけだが、全国の地銀の数はバブル崩壊後もほとんど変わっていない。こうした状況が業界再編の引き金になつている。

宮崎銀行と宮崎太陽銀行は地域密着の深化を掲げ、当面は単独路線でいく方針。近年は企業の事業承継やM&A(合併・買収)、海外進出、企業価値の向上、創業支援などに力を入れている。地方創生につながるような企業の取り組み支援、家庭における子育て応援などのため、金利優遇や資金提供も行っている。

## 学生の感想

【1年山崎麻実さん(19)】人口減少が金融機関の問題を与えていると気づいた。宮崎の金融を盛り上げるには、リスクを恐れずいろいろな企業を育てることを思う。

【1年村松純希さん(19)】自分が働くときはただお金を稼いでいるという意識だけでなく自分も地域経済に関わっているという意識を持つて働きたい。

【2年山川礼華さん(19)】企業と社会、生産と消費など分けて考えていたが、景気や経済は一連のもので、身近な事柄だと理解した。(6日の講座から)

↓ 宮日HPに動画

個人や企業などからお金を預かり、それを個人や企業に貸し出す「資金の仲介役」だ。貸出金利から預金金利を差し引いたものが「利ざや」。これが本来のなまうけになる。

人口が減ると、働く人、お金を稼ぐ人が減り、買い物などの消費行動も小さくなる。企業も減り、資金需要も減る。金融機関にとっての市場、パイが縮小するわけだが、全国の地銀の数はバブル崩壊後もほとんど変わっていない。こうした状況が業界再編の引き金になつている。

統一先企業の東南アジア進出を支援するための拠点整備に動きだしたりと、規模拡大に力を入れている。互いの強みを手につけている。互いの強みを手につけている。互いの強みを手につけている。

企業間の競争が強まったことで、企業や私たち個人へのサービスが向上しているのは歓迎すべきことだ。業界再編はさらに進むだろうが、統合する、しないにかかわらず、地域や地元企業の発展に資する提案力、実行力が地銀の活路になる。目先の利益にとらわれず、時にはリスクを取り、長い目で企業を

育て、地域の未来を担う覚悟が求められる。そうした意識が希薄な地銀は、市場から姿を消すことになる。

宮日と考える

宮崎の今

公立大時事問題講座から

▷ 6 ◁

「宮崎県政」と聞いて、どういうものかイメージはあるか。県が何をしているか知っているか。

2014年12月、知事選が行われた。県民の多くは県が何をしているか身近に感じているのではないか。そんな危機感から、知事選前の9月に20代の県内有権者100人に行ったアンケートで「知

事がどんな仕事をしているか知っているか」と問うたところ、

「知っている」と答えたのは14人だった。

宮崎県政

税収増へ各分野で努力

ほが、企業局や病院局、教育庁、県警本部などで組織される。働いているのは知事部局と教職員、警察官など合わせて約1万7千人。年間に使うお金は一般会計総額で分かるが、約7千億円に上る。

【3年岩田穂さんの21】県を活性化し、県民の暮らしをより良くするために税収の確保、雇用創出、景気回復に努めていると分かった。

「知っている」と答えたのは14人だった。

実際の、県はさまざまな分野に関わっている。過去1週間に限っても、県文化賞や歯の健康PRイベント、皇太子さま来県の受け入れ、巨人軍への伊勢エビ贈呈、老人人口の発表と、あらゆる記事が新聞に載っている。1日5本前後はある。ニュースの重要

博知事、インフラ整備やリゾート構想に取り組んだ松形祐堯知事、福祉や健康に力を入れた安藤忠恕知事と多彩。現在の河野知事は対話と協働を基本姿勢に、フードビジネスなど新たな視点による産業づくりを進めている。

【1年長尾鴻次郎さん19】もし私が知事なら、スポーツや自然、神社などの観光ポイントを生かすために飛行機やフェリーなど交通の便を良くする政策をしたい。

講師の横顔

足立 希(あだちのぞみ)



報道部員。1998年入社。都城支社、整理部などを経て2010年から現職。宮崎市出身。39歳。

性やジャンルによって掲載面

が分かれるが、複数の面に載っていることから幅広さが分かる。

では、これだけたくさんのお金を、どれだけの人がどれだけのお金を使っているのか。県は知事部局の7部の

できる限り節約することが必要。また収入を増やすため、税収を増やすことも重要。税収が増え、経済活動が活発化することで増える。県が各分野で行っている事業はそのための努力でもある。

【1年吉田可乃子さん19】今までの知事も同じようなことをしていると思っていたが、知事によって考えややる事が違うと分かった。知事選びは大事だと思った。

【13日の講座から】次回(21日付) ↓ 宮口HPに動画

学生の感想

「宮崎を元気に」だろう。県民は、県がきちんと宮崎のために働いているかをしつかり監視しなければならぬ。



宮日と考える宮崎の今～宮崎公立大学時事問題講座  
議会

宮日と考える

# 宮崎の今

～公立大時事問題講座から

▷ 7 ◁

議会は、選挙で選ばれた代表者(議員)が集まり、県・市町村の金の使い方や事業内容をチェックし、住民の課題や声を伝えることで、私たち住民の生活をより良くするという大切な役割を担う。

実際はどうか。宮崎市議選前の4月に市民100人に行ったアンケートで議員の活動に対する評価を聞いたところ、最も多かった答えが「分からない」61人。「低い」は

国民の注目が集まった安全保障関連法案については、県内の県議会、市町村議会でも熱く議論されていたことは知っているだろうか。慎重な審議を求める請願書を不採択とした県議会では傍聴者からやじが飛び、反対の意見書を可決

定方法は多数決であり、議会の中で多数派の政党や会派が決定権を握る。そして、どのような議会内の勢力構成にするかも、どのような議員を代表者として送り出すのかも、結局は選挙で決まる。選挙はそれだけ大事なものだ。

## 学生の感想

【1年山元穂さん(18)】

小学生の時に社会科見学で議会に行き、興味を持つきっかけになった。高校生や大学生にもこういう機会をつくり、実際に傍聴したらどうか。

【2年岸本千明さん(20)】

「自分が議員ならどうするか」と考える動きが出れば、多数の視点から問題の解決策が見つけられるのでは。

【3年川崎奈美さん(20)】

議員が講義しては、質疑応答を通して議員は若者の意見を聞いて、若者も議員という職業に現実味を持って、なり手不足の解消につながるはず。

# 住民の多様な声を反映

## 議会

24人で「高い」はわずか6人と厳しい視線が注がれている。それ以上に、住民の代表者であるはずの議員の活動を、住民自身が知らないという結果に危機感をおぼえる。自分が払った税金の使われ方、生活に関わる大事なことを、知らないうちに他人に決めてもらっているような状態だ。例えば、国会で審議されて

したある町議会には「到底納得できない」との声が寄せられた。一言で「住民の代表者」といっても、住民の中にはさまざまな立場や意見がある。それらの声をどう受け止める。最終的にどのような判断を下すかも、議員にとって難しいが、大切な仕事だ。

議会や政治の世界で「数々の課題とイコールではない力」と言われる。議会での決

議会は抱える課題は、住民の課題とイコールではないのか。しっかりとした代表者を

## 講師の横顔



堀口佳幸子(ほりぐち・か) な(こ) 報道部員。2003年入社。校閲部、延岡支社などを経て12年から現職。宮崎市出身。34歳。

↓宮日HPに動画  
|| 次回は28日付 ||



宮日と考える

# 宮崎の今

～公立大時事問題講座から

▷ 8 ◁

集団的自衛権の行使を可能にする安全保障関連法が、大規模な反対デモが起こる中で成立した通常国会を通して、日本の民主主義が抱えるジレンマが浮かび上がっている。

その一つは、与党が有権者の本来の支持よりも多くの議席数を持つ違和感。直近の民意である昨冬の衆院選を見ると、自民党は290議席、議

## 国政

# 政治リテラシー磨いて

選挙で勝った側から「政策は丸ごと信任された」との持論が展開されることも挙げられる。安倍晋三首相が錦の御旗に掲げた消費税増税の先送り、経済政策「アベノミクス」の推進に賛成して投票したのに、「集団的自衛権も信任を得た」と解釈された。選挙で勝った側から「政策は丸ごと信任された」との持論が展開されることも挙げられる。安倍晋三首相が錦の御旗に掲げた消費税増税の先送り、経済政策「アベノミクス」の推進に賛成して投票したのに、「集団的自衛権も信任を得た」と解釈された。選挙で勝った側から「政策は丸ごと信任された」との持論が展開されることも挙げられる。安倍晋三首相が錦の御旗に掲げた消費税増税の先送り、経済政策「アベノミクス」の推進に賛成して投票したのに、「集団的自衛権も信任を得た」と解釈された。

改憲については本県が直接かかる課題もある。「一票の格差」是正だ。法の下の平等は大切だが、国会議員の議席数を有権者の数に応じてのみ決めては、人口減少の

地方から減り続ける。環太平洋連携協定(TPP)の大筋合意へのみそぎもまだ終えていない。政府はコメや牛・豚肉など重要5項目の「聖域」を守ったとの立場だが、どう審判されるのか。

13年夏の参院選からネット選挙が解禁されたが、投票率向上の成果は得られていない。それだけに「18歳選挙権」導入で若者による新たなうねりが期待される。政治リテラシーを磨く必要がある。

### 学生の感想

【1年長丸千紘さん(18)】

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられる意味をしっかりと考えていきたい。選挙の際はやんぱと投票したい。

【2年井上紗希さん(20)】

「一票の格差」をなくすると、地方の意見が届けやすくなるのとのバランスが良くなる新しい選挙制度になったらいいなと思った。

【3年大谷啓人さん(21)】

(安倍政権は)安全保障関連法で説明不足と口をそろえて批判されていたが、同時に国民の勉強不足とも取れるのでは。主体的に学ぶ姿勢が必要。

27日の講座から  
次回回は12月5日付  
↓宮日HPに動画

### 講師の横顔



中山 貴史(なかがま・たかし) 報道部次長。1996年入社。えびの支局長、東京支社報道部次長などを経て現職。44歳。

代表33・11%にとどまる。ただ、責任は野党にもあ

る。バラバラに動いて票を分け合い、まとまった自民、公明両党の勝利をお膳立てしたからだ。安保法に反対する大

学生らのグループ「SEALDs(シールズ)」は、リベラル勢力の結果が現実的な対抗手段と提言する。

んな戸惑いも広がる。来夏の参院選は、こうした思いを有権者が抱きながら迎えるので緊張感があるので



# 宮日と考える

# 宮崎の今

公立大時事問題講座から

9

社会のしわ寄せはたれに行かぬ。最も弱い人たちが。子どもの貧困が拡大、深刻化した。子どもたちの代弁者になりたいと取材を重ねてきた。先進国で深刻化する貧困は、衣食住に困っている状態の「絶対的貧困」と違い「相対的貧困」といわれる。その社会にとってほとんどの人が得られるものが得られない状態ではない、高校に進学できない、部活に入部できないーなど。単にお金がないから部活に入れないのではない。週末の遠征費用が捻出できなかったり、保護者が仕事を休めず送迎の当番を担えなかつたりして次第に居場所を失い、退部する事例を見てきた。お金や物がなく上に、周囲との関係性が切れていく。情報が途

絶えていく。子どもたちは孤立し、「どうせ俺なんて」と投げやりになってしまう。高校に進学できなかった子どもたちは、学力だけでなく意欲も失ってしまっていた。幼いころから勉強を奨められ、家には勉強部屋や机が

になり得る。このリスクから逃れられる人はいない。見ないふりをせず、社会の現実を知り、社会に埋もれた声を聞く努力をしてほしい。本県は低所得、長時間労働、高い離婚率を示す。日本の子どもの貧困率は16.3%(2012年)だが、宮崎県はもっとも高くなるかもしれない。この不平等で理不尽な格差が広がってくるのはおかしな、もつと国が教育費を負担すべきだと思う。

### 学生の感想

【3年丸富彩湖さん(21)】

教育は子どもたちに平等に与えられるもの。所得に応じて格差が出てくるのはおかしいし、もつと国が教育費を負担すべきだと思う。

【1年日高綾さん(19)】

「たった少しの不運が重なって貧困になってしまう。そしてたくさんのお金を失う」という言葉がとても印象に残った。私は大丈夫だという保証はどこにもないと感じた。

## 埋もれた声 聞く努力を

### 子どもの貧困

### 講師の横顔

高見 公子(たかみ・こうこ) 文化部長



文化部長。1999年入社。4年入部。文化部長を経て2015年4月から現職。44歳。

希望と意欲を失う。こうした状況を「自己責任」と言い放つことができるだろうか。離婚や病気、障害、失業、転職といった人生の転機は貧困に陥るきっかけ

長い。自分自身の好きなこと、特長を社会のために生かせるチャンスが与えられる。誰もが暮らしやすい社会を実現するため、多様な支援を探してほしい。

準備のほかに、学習支援、フードバンク、基金設立など官産民学による支援の輪が本県でも広がっている。一朝一夕では解消できない。支援は長く、自分の好きなこと、特

↓ 宮日HPに動画

⇐ 次回は12月11日



宮日と考える宮崎の今～宮崎公立大学時事問題講座

写真の持つ力

宮日と考える

宮崎の今

～公立大時事問題講座から

▷ 10 ◁

新聞紙面は記事や写真、見出し、イラストなどがバランスよく配置されてこそ見やすく、読む人の理解も早まる。記事と写真の違いは、言語と画像の情報の違い。どちらが優れているかを議論するより、違いを認めた上で、状況に応じてそれぞれを使い分け、補完し合う必要がある。写真の具体性で文字表現の抽象性を補うともいえ

写真加工が一般的だが、新聞写真で加工を行うことはほとんどない。新聞では政治家や有識者の顔写真、さまざまな風景写真が掲載されるが、これは記事にうそはなく、写真の通りであることを必ず意味もある。運転免許証やパスポート、身分証明書などに本人の顔写真があるのも、写真の正確さが法的に認められ

写真の持つ力

正確さで記事理解補う

画像加工が一般的だが、新聞写真で加工を行うことはほとんどない。新聞では政治家や有識者の顔写真、さまざまな風景写真が掲載されるが、これは記事にうそはなく、写真の通りであることを必ず意味もある。運転免許証やパスポート、身分証明書などに本人の顔写真があるのも、写真の正確さが法的に認められ

良いニュース写真とは、ニュースの本質を捉え、テーマの視覚化に優れているもの。主役にヒントが合っていることとはもちろん、その大きさや位置なども工夫する。分かりやすさや写真的な美しさ、躍動感も重要。写真記者には、撮影技術以外にも取材目的や被写体に対する理解、観察の深さなど総合力が求められる

2006年12月、知事だった故安藤忠雄さんが宮製鉄合資会社に逮捕された。逮捕の瞬間を撮影しようと、知事公舎での張り込みが始まったのは10月下旬。公務時間外の午前5時から深夜1時ごろまで毎日、カメラマン数人が交代しながらその一瞬を待った。当日は撮り逃す全国紙もあったが、本紙は無事撮影に成

る。2006年12月、知事だった故安藤忠雄さんが宮製鉄合資会社に逮捕された。逮捕の瞬間を撮影しようと、知事公舎での張り込みが始まったのは10月下旬。公務時間外の午前5時から深夜1時ごろまで毎日、カメラマン数人が交代しながらその一瞬を待った。当日は撮り逃す全国紙もあったが、本紙は無事撮影に成

るだけでなく、現像するまでし、ぜひ自分の歴史として後世に残す作業まで行ってほしい。

学生の感想

【1年生 落合明日香さん(19)】記事に引き込まれたり、考えさせられたりするのは、写真の効果が十分に発揮され、カメラマンの思いが込められているからだと分かった。

【1年生 元村美穂さん(19)】新聞は記事や見出しなどの文字に集中してしまい、写真にはあまり注目していなかった。すこくもったいないことをしていたと反省した。

【3年生 川上楓さん(21)】写真の見方が大きく変わった。これからはどのような思いでその写真が撮られているのかを考えながら記事を読もうと思



講師の横顔  
中島 雅隆(なかしま まさたか) 写真真部長。1997年入社。写真部次長を経て2015年4月から現職。宮崎市出身。51歳。

味もある。運転免許証やパスポート、身分証明書などに本人の顔写真があるのも、写真の正確さが法的に認められ

深さなど総合力が求められる

【11日の講座から】次回19日付

↓宮日HPに動画



宮日と考える宮崎の今～宮崎公立大学時事問題講座

古代史

宮日と考える

宮崎の今

公立大時事問題講座から

高速道路、新幹線などの交る大型の古墳が物語っている。通インフラや中心市街地の再開発など経済、生活環境において、本県は取り残されているイメージが強い。近世、中世、古代とさかのぼっても、歴史上での本県(かつての日向国)の存在感は希薄といわざるを得ない。しかしながら昔の古墳時代には、ヒムカが日本列島の中で存在感を發揮していたことを、現存する

古代史

未来探るガイドライン

古墳が次々と造られたのか。誰が葬られたのか。古事記、日本書紀などの史書や氏族の伝承などが謎に迫る手掛かりになるかもしれない。「記紀」というと神話のイメージが強いが、天皇の伝承にも多くの情報が含まれる可能性

る。仁徳天皇は妃となった長媛との間に大草香皇子と幡原皇子をもうけ、ヒムカ系一族は繁栄のときを迎えた。権力の絶頂に近づいたはずのヒムカ系一族は突如、転落する。第20代・安閑天皇の代に、安閑の弟の大海瀨幼武尊(後の第21代・雄略天皇)と幡原皇女との縁談がこじれたことを発端に、一族は皇統から

学生の感想

【1年米良幸太さん(18)】

地元の西部原古墳群が有名なことは分かっていたが、あらためてすごい地ということを感じた。友達にも楽しさを伝えたい。

【2年池邊汐梨さん(19)】

宮崎は神話のイメージが強いので、神話以外の部分で古代史の鍵を握る場所だったということが驚きだった。

【1年松野雪弓さん(19)】

自分たちの住む地域と結びつけながら歴史を勉強すると覚えやすいと感じた。

(18日の講座から)

次回は26日付

↓宮日HPに動画

講師の横顔



久保田 順司(くぼた じゅんじ) 文化部長。1995年入社。東京支社報道部次長、編集局整理部次長などを経て現職。44歳。

古墳時代の前期・中期で九州最大の古墳は西部原古墳群の男狭穂塚と女狭穂塚、次が生目古墳群の生目3号墳と、本県に集中している。全国の古墳を大きなものからたどっていくと、男狭穂塚、女狭穂塚は50位前後。当時の中心地だった近畿以外で造られた古墳としては特異な大きさといえる。

古墳時代の前期・中期で九州最大の古墳は西部原古墳群の男狭穂塚と女狭穂塚、次が生目古墳群の生目3号墳と、本県に集中している。全国の古墳を大きなものからたどっていくと、男狭穂塚、女狭穂塚は50位前後。当時の中心地だった近畿以外で造られた古墳としては特異な大きさといえる。

「排除」されてしまう。雄略天皇は、天皇(大王)に匹敵する力を持っていた大豪族の葛城氏、それに関わりを持つとみられるヒムカ系一族の力をそくことをもくろんだのではないか。県民にとっては悲劇といえるが、追い落とされるだけの大きな力を誇っていた「ヒムカの輪郭」が見えてくる。

なぜヒムカに九州最大級の古墳が次々と造られたのか。誰が葬られたのか。古事記、日本書紀などの史書や氏族の伝承などが謎に迫る手掛かりになるかもしれない。「記紀」というと神話のイメージが強いが、天皇の伝承にも多くの情報が含まれる可能性



宮日と考える宮崎の今～宮崎公立大学時事問題講座

宮崎牛

宮日と考える

宮崎の今

公立大時事問題講座から

▷ 12 ◁

宮崎牛は本県を引く張る農産物ブランドだ。最近では県外での知名度も上がっているが、定義やこれまでの歩みまで知っている人は、まだ県内でも少ないのではないかと、きょうは宮崎牛を頭で味わってみようと思う。

宮崎牛の基となる子牛も「県内生まれ」であることが新たに加えられた。価格への反映など課題もあるが、新定義によって素質の高い宮崎の子牛を育てた牛肉であることをPRできるようになった。

おいしい牛肉生産には優秀な子牛が不可欠で、子牛の善しあしには血筋が大きく影響する。宮崎では、戦前から

外の種雄牛を導入するなどして改良を重ねてきた。89年に誕生した「安平」はその最たるもので、宮崎牛の質は劇的に向上した。その子どもや孫たちも質の高い子牛を次々に世に送り出し、松阪牛や近江牛など有名ブランドも宮崎産

認められたということだ。口蹄疫を乗り越え、ブランドとしての階段を再び上り始めた宮崎牛だが、さらなる試練を迎えようとしている。10月に大筋合意した環太平洋連携協定(TPP)だ。国は和牛と海外産牛肉は差別化でき

ており大きな影響はないと説明するが、高い飼料と長い飼育期間が必要な和牛を再生産

宮崎牛

生産現場知り価格理解

ブランドとしての宮崎牛が誕生したのは1986(昭和61)年。県内で育った肉質等

の子牛で生産されている。2010年の口蹄疫では、何十年もかけてつくり上げてきたそうした種雄牛も、55頭中50頭が殺処分された。安平の血を継ぐエース級も含まれていた。宮崎牛はそこから再スタートし、12年の全国和牛能力共進会(全共)で07年に続く連続日本一に輝いたの

だ。日本で一番の産地として

できる価格が維持できるかどうかは、私たち消費者の選択にかかっている。

食べ比べて分かったように、宮崎牛と海外産牛肉の品質差は大きい。ただ、その差を価格としてとらえて受け止められるのは、宮崎牛や生産現場のを知っているかどうかで違ってくると思う。これから先、食べる機会があ

る時には、周りの人にもきょうの話を伝えてほしい。みんなで宮崎牛を応援することが一番のTPP対策になる。

学生の感想

講師の横顔

海老原 亨(えびはら・ひとし) 報道部員。2002年入社。延岡支社、



警理部などを経て13年から現職。新富町出身。38歳。

25日の講座から、22面参照。

次回(来年)1月9日付

【1年藤原香葉さん(18)】宮崎牛の価格には手間や飼料など相応の理由があることが分かり、高くても仕方がないんだなと思えた。きょうの内容を多くの人に広めることが必要だと思った。

【2年太田奈々さん(20)】宮崎牛の歴史を知り、口蹄疫を乗り越えて品質を保っていることはとてもすごいと感じた。

【4年橋口翔太郎さん(23)】試食では(オーストラリア産に比べ)宮崎牛は圧倒的に軟らかく、さすがだなと感じた。



宮日と考える宮崎の今～宮崎公立大学時事問題講座

防災・減災

宮日と考える

# 宮崎の今

～公立大時事問題講座から

▷ 13 ◁

## 防災・減災

# 知識身に付け備えよう

本県は地震・津波、霧島連山などの火山噴火、台風など自然災害の危険性が高い。この地域の地方紙として宮崎日日新聞は防災・減災報道に取り組んできた。

県内で起きた災害をどう伝えたいか、まずは新燃岳噴火を例に紹介する。

### 講師の横顔



川路善彦(かわじ・よしひこ)報道部次長。1996年入社。報道部、社報報道部、東諸支局などを経て2012年から現職。宮崎市出身。42歳。

2011年1月19日、新燃岳が噴火し、都城市などを広範囲に巻き込んだ。26日に再び噴火、27日、ついに爆発的噴火し、およそ300年ぶりの本格的なマグマ噴火が始まったことを受けて、これ以降は連日一面、社会面に記事を展開した。

水が始まり住民がボートで避難した。「たまたまぬ剪囲気」が伝わる。6日に最接近し、椎葉村では土砂崩れで旅館が流されるなどし、県内で死者39人、被害総額128億円の大きな被害が出た。災害報道は、発生時はとにかく起きてい

直結する啓発報道だ。11年3月11日に東日本大震災が発生してから、毎月11日付で「みやまに防災特集」のページを設け、さまざまなテーマで啓発を行ってきた。避難訓練と座談会を組み合わせたワークショップ「ソナウレ！」も昨年

「1年宮岡啓成さん(19)」新聞は手元に保存できる点を生かし防災に必要な行動、道具などを報道し、読んでいる人に保存してもらえ記事を書いてほしい。

「自助」の観点からまずは災害の知識を身に付け「知って備える」ことを心掛けてほしい。食料も3日分の備蓄を。県や宮崎市などの防災メールサービスにも登録し、情報を受けるばかりでなく自ら求めることも必要だろう。

「3年上野夏美さん(21)」意識の低さは大きな問題になる。定期的に防災・減災の情報を掲載してほしい。

「8日」の講座から  
次回13日付  
↓宮日HPに動画

事を取ったが、まだ扱いは2番手。26日に再び噴火、27日、ついに爆発的噴火し、およそ300年ぶりの本格的なマグマ噴火が始まったことを受けて、これ以降は連日一面、社会面に記事を展開した。

昨年、発生から10年の節目を迎えた05年9月の台風14号についても振り返る。9月5日、既に宮崎市高岡町では浸

と並んで重要なのが、減災に

まつわる報道も、突き詰める



宮日と考える

# 宮崎の今

～公立大時事問題講座から

▷ 14 ◁

## 裁判員報道

# 容疑者を犯人視しない

裁判員制度は、刑事裁判に市民感覚を反映させる目的で2009年に始まった。裁判官と、有権者から無作為に選ばれた裁判員が、殺人や覚せい剤取締法違反、強盗致死傷などを審理する。この制度が生まれる過程では、私たちメディアにとって看過できない問題が生じている。

03年3月、司法制度改革推

### 講師の横顔



戸高大輔(とだか・だいすけ) 総務部次長。1992年入社。整理部次長、報道部次長を経て現職。宮崎市出身。46歳。

項に反対。結局は与党による「メディアの自主的対応に委ねる」との政治判断を受けて決着したが、メディア側が重い課題を突き付けられる結果にもなった。

こうした経緯もあり、日本新聞協会は08年1月、「裁判

等報道の徹底「情報出所の明示」を3本柱とするガイドラインを10年に完成させた。

「犯人視報道しない」ための第一歩として、記事の中心は事実認定されておらず、あくまで逮捕容疑であることを強調。「余罪」という言葉を使わない、プロフィール報道では容疑者を犯人と決め付けるような報道をしないことな

「対等報道の徹底」では捜査側だけでなく容疑者、被告側の見方を極力盛り込む努力をする。「情報出所の明示」は、「県警によると」「宮崎地検によると」などと情報の出所を可能な限り記すことを明記した。

### 学生の感想

【2年東嶋真紀さん(20)】

新聞社が事件報道について言葉の言い回しなど気を使っていたことは知らなかった。容疑者と呼ばれるのが普通だと思っていたが、昔は呼び捨てで、あたかも犯人だと決め付けるような記事になっていたことが多かった。

【1年赤星梨月さん(19)】

一つ一つの新聞記事の内容が大きな過ちを犯してしまってもあるのだなあと、あらためて報道の難しさを知ることができた。いつも新聞を見ていて、逮捕された内容に対して、なぜ断定しないのだろうと、なぜ断定しないのだろうと、今回の講義で初めてその理由を知った。

(12日の講座から)

次回は23日付

↓宮日HPに動画

の公正を妨げる行為の禁止(偏見条項)がそれで、「報道機関は事件に関する偏見を生ぜしめないように配慮しなければならぬ」などの文言が入っている。

員制度開始にあたっての取材(偏見条項)を公表。事件の容疑者を犯人と決め付けた報道(犯人視報道)はしないことを再確認し、容疑者の供述などを報じる際の注意事項をまとめた。これを受けて、宮崎日日新聞社が加盟する共同通信社がガイドライン作りに着手。宮日も自社版の作成を始め、「犯人視報道しない」対

日本新聞協会は「取材・報道が制約を受け、国民の知る権利に配慮されなくなる恐れが大きい」とし、自主的な取り組みを表明した上で偏見条



宮日と考える宮崎の今～宮崎公立大学時事問題講座

地方創生

宮日と考える

# 宮崎の今

公立大時事問題講座から

▷ 15 ◁

グローバル化の時代に地方はど  
う対応したら生き残れるか。  
安倍政権は2014年末、60  
年時点で人口1億人程度を維  
持するため、人口減少対策の  
5カ年計画「総合戦略」を閣  
議決定し、15年度を「地方創  
生元年」と位置つけた。

## 地方創生

# 地域内循環仕組み必要

国の地方創生の特徴の一つ  
は「まち」「ひと」「しごと」

一つの特徴は、国の地方創生  
は「成長戦略」の一環だとい  
うことだ。成長戦略とは、ア  
ベノミクスに象徴されるよう  
に、さまざまな規制を緩和  
し、すべてを市場競争に委ね  
て経済成長を実現する戦略  
だ。その柱は労働時間の規制  
緩和、混合診療の拡大、農協  
の実質的解体と農地の株式会  
社化など。地方が再生できる

万人余りにとどめようとする  
ビジョンだ。そのために始動  
プロジェクトとして①中山間  
地の移住Uターン②経済  
活性化・所得向上③対策を  
実施していく。中山間地対策に  
独自性があるようだ。

の風潮がまん延している。こ  
れを反転する哲学が要る。  
地方がグローバル化シヨ  
ンの波に翻弄(ほんろう)さ  
れないためには、農業・食、  
エネルギー、医療・福祉など  
の地域自給と地域内循環、地  
域自治を進めて、お金が中央  
に流出しない仕組みをつくる  
必要がある。地方、地域社会  
には未来がある。その未来を

つくるのはあなたたちだ。  
学生の感想  
【3年甲斐咲子さん(21)】  
都会にない、その地方の良さ  
や、田舎の良さが都会の人間  
を引きつけることができる  
ということが講義で分かった。  
が、まずは地域に住む人間を  
大事にする政策も重要だ。  
【2年山川礼華さん(20)】  
最終的に地方を元気にするの  
は住民の力だと思うので、住  
民が地元をよく知り、地域に  
還元できるように、自発的な取  
り組みを促すことが大事。  
【1年永友歩里さん(18)】  
きょうの講義で取り上げられ  
ていた「地方創生」の動きを  
通して、まずは地方の人々が  
つながっていくことが大切  
だ。自分の住む地域に誇りが  
持てるようになればいい。  
(22日の講座から)

外前田 孝(ほかまたた・  
たかし)地  
域情報部  
長。1998  
6年入社。  
運動部長を経て2011年か  
ら現職。鹿児島県出身。52歳。



### 講師の横顔

の風潮がまん延している。こ  
れを反転する哲学が要る。  
地方がグローバル化シヨ  
ンの波に翻弄(ほんろう)さ  
れないためには、農業・食、  
エネルギー、医療・福祉など  
の地域自給と地域内循環、地  
域自治を進めて、お金が中央  
に流出しない仕組みをつくる  
必要がある。地方、地域社会  
には未来がある。その未来を

つくるのはあなたたちだ。  
学生の感想  
【3年甲斐咲子さん(21)】  
都会にない、その地方の良さ  
や、田舎の良さが都会の人間  
を引きつけることができる  
ということが講義で分かった。  
が、まずは地域に住む人間を  
大事にする政策も重要だ。  
【2年山川礼華さん(20)】  
最終的に地方を元気にするの  
は住民の力だと思うので、住  
民が地元をよく知り、地域に  
還元できるように、自発的な取  
り組みを促すことが大事。  
【1年永友歩里さん(18)】  
きょうの講義で取り上げられ  
ていた「地方創生」の動きを  
通して、まずは地方の人々が  
つながっていくことが大切  
だ。自分の住む地域に誇りが  
持てるようになればいい。  
(22日の講座から)

つくるのはあなたたちだ。  
学生の感想  
【3年甲斐咲子さん(21)】  
都会にない、その地方の良さ  
や、田舎の良さが都会の人間  
を引きつけることができる  
ということが講義で分かった。  
が、まずは地域に住む人間を  
大事にする政策も重要だ。  
【2年山川礼華さん(20)】  
最終的に地方を元気にするの  
は住民の力だと思うので、住  
民が地元をよく知り、地域に  
還元できるように、自発的な取  
り組みを促すことが大事。  
【1年永友歩里さん(18)】  
きょうの講義で取り上げられ  
ていた「地方創生」の動きを  
通して、まずは地方の人々が  
つながっていくことが大切  
だ。自分の住む地域に誇りが  
持てるようになればいい。  
(22日の講座から)

つくるのはあなたたちだ。  
学生の感想  
【3年甲斐咲子さん(21)】  
都会にない、その地方の良さ  
や、田舎の良さが都会の人間  
を引きつけることができる  
ということが講義で分かった。  
が、まずは地域に住む人間を  
大事にする政策も重要だ。  
【2年山川礼華さん(20)】  
最終的に地方を元気にするの  
は住民の力だと思うので、住  
民が地元をよく知り、地域に  
還元できるように、自発的な取  
り組みを促すことが大事。  
【1年永友歩里さん(18)】  
きょうの講義で取り上げられ  
ていた「地方創生」の動きを  
通して、まずは地方の人々が  
つながっていくことが大切  
だ。自分の住む地域に誇りが  
持てるようになればいい。  
(22日の講座から)

↓ 宮日HPに動画

おわり